

日本図書館情報学会会報

No.150【Web版】

2013年6月

日本図書館情報学会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室内

E-mail: office@jslis.jp

Website: <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2013年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 根本 彰

2013年度定例（通信）総会を実施いたします。投票用紙（着払いはがき）または電子投票のいずれかの方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください（総会は正会員によって構成されるため、名誉会員、学生会員、施設会員、賛助会員の皆さまには、案内は同封していません）。

記

投票期日：2013年6月30日（日）（郵送は翌々日到着分、電子投票は翌朝10:59まで有効）

議 題： 第一号議案 2012年度事業報告

第二号議案 2012年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2013年度事業計画案

第四号議案 2013年度予算案

第一号議案 2012年度活動報告

1. 2012年度総会の開催

(1) 定例（通信）総会

2012年8月27日（月）を投票締切日として定例（通信）総会を実施し、全議案が成立した。

(2) 臨時総会

2012年11月18日（日）に九州大学箱崎キャンパス（福岡県福岡市）を会場として、臨時総会を開催した。

2. 第60回研究大会の開催

第60回研究大会を2012年11月17日（土）～18日（日）に九州大学箱崎キャンパス（福岡県福岡市）にて開催した。

3. 2012 年春季研究集会の開催

2012 年春季研究集会を 2012 年 5 月 12 日（土）に三重大学（三重県津市）にて開催した。

4. 研究大会におけるシンポジウムの開催

研究大会 2 日目午後「2020 年の学術情報流通と大学図書館を展望する」と題してシンポジウムを開催した。

5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第 58 巻第 2 号（2012 年 6 月号）、第 58 巻第 3 号（同年 9 月号）、第 58 巻第 4 号（同年 12 月号）、第 59 巻第 1 号（2013 年 3 月号）を発行した。

6. 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.145（2012 年 4 月）、No.146（同年 7 月）、No.147（同年 10 月）、号外（同年同月、PDF 版のみ）、No.148（2013 年 2 月）を発行した（印刷版の郵送および PDF 版のメール配信）。

7. 学会刊行物（新シリーズ）刊行の検討

次期シリーズについて検討を進めた。出版社と条件交渉を行い、シリーズ全体と第一巻の企画を開始した。

8. 学会賞・学会奨励賞・論文賞の選考・授与

日本図書館情報学会賞については、今年度は該当なしとなった。また、次の著作に日本図書館情報学会奨励賞を授与した。

- ・ 匂坂佳代子（電気通信大学）「中小規模の理工医学系国立大学における電子ジャーナルの需要と提供の実態」『日本図書館情報学会誌』vol.57, no.4, 2011, p.141-160

日本図書館情報学会論文賞については、今年度は該当なしとなった。

9. 研究助成の募集・交付

研究助成の募集を行い、審議の結果、以下の 3 件に助成した。

- ・ 赤山みほ（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）「公立図書館における指定管理者選考プロセスの実態調査」
- ・ 大蔵綾子（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）「わが国の立法機関における文書管理の現状と課題：参議院事務局及び衆議院事務局を中心に」
- ・ 石過桃子（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）「日本の図書館における Twitter の利用実態と業務内における位置づけに関する分析」

10. 優秀発表賞の試行

第 60 回日本図書館情報学会研究大会において優秀発表賞を試行した。研究委員会において審査した結果、以下の 1 件の発表に対して表彰を行なった。

- ・ 汐崎順子（慶應義塾大学）「日本における文庫活動の現状：質問紙調査の結果から：質問紙調査の結果から」

11. 学会活動貢献賞の選考・授与

学会活動貢献賞については、今年度は該当者なしとなった。

12. 学会誌の電子的提供

CiNii を通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を、会員には無料で、一般には有料（3

年以前は無料) で提供した。

13. 学会広報の電子化

他団体からの案内等を掲載する会員向けメールマガジンの No.237～243 を発行した。学会ウェブサイトの更新(会報・メルマガの掲載を含む)を行なった。

14. 電子投票の実施

定例(通信)総会において電子投票を実施した。

15. 図書館情報学教育の在り方の検討

これからの図書館情報学教育を検討するため、司書資格について他の資格と比較することにより、その特性を明らかにした。これについては、2012年度春季研究集会(三重大学)において発表を行い、『生涯学習基盤経営研究』において論文を発表した。2013年3月16日(土)にシンポジウム「日本の専門職養成の構造からみた図書館専門職養成の検討」を開催した。また、平成24年度全国図書館大会(島根大会)において本委員会の活動について発表した。

16. 図書館情報学検定試験の実施

2012年11月25日(日)午後に図書館情報学検定試験を実施した。試験実施業務については情報科学技術協会に委託した。受験者数は、東京会場106名、つくば会場57名、名古屋会場10名、大阪会場23名、京都会場18名、その他85名であった。

また、検定試験についての広報活動として、ホームページの開設、ポスター・チラシの作成と配布、雑誌への広告などの掲載、パンフレットの作成を行なった。成績優秀者には、賞状と記念品の贈呈を行なった。

17. 国際的活動の実施

図書館情報学関連の国際会議情報を収集し、学会のメールマガジンに掲載した(2012年度の実績は、2012年4月、8月、2013年3月)。

18. 図書館情報学用語辞典第4版の編集

『図書館情報学用語辞典』第4版の編集を進めた。

19. 学会運営に関する検討

学会運営に関する臨時委員会を組織し、検討を行なった。なお、検討結果は答申にまとめた。

20. 事務局体制の整備

一部業務の委託、事務局員の増員、名簿(会員データ)の整備を行なった。

21. 理事会・常任理事会の開催

(1) 理事会

第1回 2012年5月19日(土) 青山学院大学 第2回 2012年11月18日(日) 九州大学

(2) 常任理事会

第1回 2012年4月28日(土) 東京大学 第3回 2012年11月17日(土) 九州大学
第2回 2012年9月28日(金) 東京大学 第4回 2013年3月16日(土) 東京大学

22. 委員会の開催

(1) 学会賞選考委員会

第1回 2012年10月3日(水) 東京駅

(2) 編集委員会

第1回 2012年4月21日(土) 筑波大学 第2回 2012年10月20日(土) 筑波大学

(3) 研究委員会

第1回 2012年6月9日(土) 慶應義塾大学 第2回 2013年1月26日(土) 慶應義塾大学

(4) 総務委員会

第1回 2013年3月22日(金) 青山学院大学

(5) 図書館情報学教育特別委員会図書館情報学検定試験担当

第1回 2012年9月4日(土) 東京大学 第2回 2012年11月10日(土) 東京大学

(6) 図書館情報学教育特別委員会図書館情報学教育担当

第1回 2012年9月4日(土) 東京大学 第3回 2013年3月15日(金) 東京大学
第2回 2013年2月22日(金) 東京大学 第4回 2013年3月16日(土) 東京大学

23. 会員現況 (2013年3月31日現在)

名誉会員 1 正会員 656 学生会員 80 団体会員 43 賛助会員 4

※参考 (2012年3月31日時点)

名誉会員 1 正会員 652 学生会員 75 団体会員 45 賛助会員 4

第二号議案 2012年度決算報告・会計監査報告

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1. 会費			
正会員	4,295,000	2,240,000	5,000×448人・年
学生会員	190,000	78,000	2,000×39人・年
団体会員	690,000	585,000	15,000×39機関・年
賛助会員	250,000	50,000	50,000×1機関・年
入会金	30,000	28,000	28件
2. 広告料	243,000	220,000	25,000×4件+30,000×4件
3. 学会誌売上代金	1,680,000	2,014,600	定期購読(110件) 924,000 バックナンバー1,090,600
4. 印税	50,000	96,900	丸善出版 96,900
5. 雑収入	50,000	42,331	利子 1,075 情報システム研究機構 7,875 科学技術振興機構 5,460 春季研究集会 27,921
6. 前年度繰越金	7,769,382	7,769,382	
合計	15,247,382	13,124,213	A

(支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1. 事務費			
消耗品費	300,000	195,607	文具・封筒・宛名ラベル・印刷インク他
事務機器費	50,000	0	
刊行物送料	960,000	806,953	学会誌 58巻1号～59巻1号(58巻4号までの 発送委託費を含む) 会報 144号～148号

通信費	400,000	200,210	郵送費・振込手数料・郵便振替加入社負担金
交通費	820,000	288,180	理事会 61,000 常任理事会 18,7500 事務局職員通勤手当 39,680
人件費	410,000	475,100	事務局職員賃金 452,600 アルバイト代 22,500
会議費	86,000	33,550	理事会 25,150 会計監査 8,400
業務委託費	900,000	164,850	業務委託費（移行費用・3月分）
レンタル料	120,000	8,800	ウェブサーバ利用料
2. 委員会経費			
研究委員会	159,000	104,000	交通費 104,000
編集委員会	291,500	132,407	交通費 89,000 通信費 10,000 会議費 5,582 書籍代 6,825 謝金 21,000
総務委員会	340,000	94,000	交通費 10,000 会員データ確認 84,000
図書館情報学教育 特別委員会図書館 情報学検定試 験担当	182,500	22,500	交通費 22,500
図書館情報学教育 特別委員会図書館 情報教育担当	262,500	281,876	会場費 17,850 交通費 84,000 会議費 38,940 講師謝礼 60,000 印刷費 21,136 アルバイト代 59,950
国際委員会	112,500	0	
学会賞選考委員会	114,000	0	
図書館情報学用語 辞典編集委員会	89,000	0	
3. 印刷費			
学会誌印刷費	2,542,000	2,533,656	58巻1号 609,789 58巻2号 631,520 58巻3号 433,750 58巻4号 252,462 59巻1号 564,135 電子データ 42,000
会報印刷費	350,000	207,900	144号補遺版 15,750 145号 34,650 146号（投票用紙・お詫び状を含む）88,200 147号 39,900 148号 29,400
会員名簿印刷費	50,000	0	
4. 研究大会・集会			
春季研究集会	170,000	0	（収入 312,000 円，支出 293,079）
研究大会	300,000	500,000	研究大会事務局への拠出金
研究大会シンポジ ウム	30,000	110,000	非学会員パネラー謝金・交通費
5. 研究助成金			
研究助成金	600,000	788,000	293,000×1名 285,000×1名 210,000×1名
学会賞等副賞	500,000	100,000	奨励賞副賞
6. その他			
予備費	5,108,382	206,825	学会運営に関する臨時委員会（交通費 190,500 会議費 16,325）

合計	15,247,382	7,254,414	B
	次年度繰越金	5,869,799	A-B

【図書館情報学検定試験特別会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
検定試験受験料	800,000	813,000	
前年度繰越金	808,566	808,566	検定試験受験料
雑収入		116	利子
合計	1,608,566	1,621,682	C

(支出の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
交通費	50,000	0	
会議費	10,000	0	
ちらし作成費	120,000	120,990	リーフレット
広告掲載費	120,000	68,250	学校図書館 8月号
会場運営費	30,000	0	
説明会運営費	60,000	0	
バッジ作成費	10,000	13,100	バッジ代
予備費	1,208,566	1,575	振込手数料
合計	1,608,566	203,915	D
	次年度繰越金	1,417,767	C-D

会計監査報告

会計監査の結果、事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告します。

2013年5月18日 監事 阪田 蓉子 (印)

2013年5月18日 監事 谷口 祥一 (印)

第三号議案 2013年度活動計画案 (各項目末尾の括弧内は担当の委員会等)

1. 2013年度総会の開催 (事務局)

(1) 定例 (通信) 総会

投票締切日を2013年6月末日として定例 (通信) 総会を実施する。なお、投票は郵送および電子投票による。

(2) 臨時総会

2013年10月13日 (日) に東京大学本郷キャンパスを会場として臨時総会を開催する。

2. 第61回研究大会の開催 (研究委員会・研究大会事務局)

第61回日本図書館情報学会研究大会 (学会設立60周年記念大会) を2013年10月12日 (土) ・13日 (日) に東京大学本郷キャンパスにて開催する。

3. 2013年春季研究集会の開催 (研究委員会)

2013年春季研究集会を2013年5月25日 (土) に筑波大学春日キャンパスにて開催する。

4. 研究大会におけるシンポジウムの開催（研究委員会・研究大会事務局）
第 61 回研究大会 2 日目午後に図書館情報学教育に関連したテーマでシンポジウムを開催する。
5. 『日本図書館情報学会誌』の発行（編集委員会）
『日本図書館情報学会誌』第 59 巻第 2 号（2013 年 6 月号），第 59 第 3 号（同年 9 月号），第 59 巻第 4 号（同年 12 月号），第 60 巻第 1 号（2014 年 3 月号）を発行する。また，CiNii を通じて電子版を提供する（会員は無料，一般は直近 3 年間分が有料）。
6. 会報の発行（事務局）
『日本図書館情報学会会報』No.149（2013 年 4 月），No.150（同年 6 月），No.151（同年 10 月），No.152（2014 年 1 月）を発行する（印刷版郵送・PDF 版メール配信）。
7. 学会刊行物（新シリーズ）刊行の準備（研究委員会）
2015 年度研究大会において頒布する日程で，次期シリーズの企画を進め，原稿の依頼を開始する。
8. 学会賞・学会奨励賞・論文賞の選考・授与（学会賞選考委員会）
正会員の優れた著作で 2011 年度もしくは 2012 年度に刊行されたものを対象として「日本図書館情報学会賞」を授与する。個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第 58 巻第 2 号から第 59 巻第 1 号までに掲載されたものを中心に「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。『日本図書館情報学会誌』第 58 巻第 2 号から第 59 巻第 1 号までに掲載された論文を対象として「日本図書館情報学会論文賞」を授与する。
9. 研究助成の募集・交付（研究委員会）
図書館情報学振興のために，会員が個人としてあるいはグループとして計画した研究 2 件程度に対し，研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。
10. 優秀発表賞の選考・授与（研究委員会）
春季研究集会・研究大会において優れた口頭発表を行なった学会員に「優秀発表賞」を授与する。
11. 学会活動貢献賞の選考・授与（総務委員会）
本学会の運営，事業，会員サービスの向上等に関して，その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与する。
12. 学会広報の推進（総務委員会）
学会ウェブサイトの管理・更新（会報・メルマガの掲載を含む），メールマガジンの発行，入会案内（パンフレット）の作成などを進める。
13. 図書館情報学教育の在り方に関する検討（図書館情報学教育特別委員会）
「学会運営に関する臨時委員会」の答申（2013 年 4 月 22 日付）における図書館情報学教育関係事項に基づき，本学会が関与すべき今後の図書館情報学教育の在り方について議論する。また，これと並行して図書館情報学教育をテーマとする研究大会シンポジウムを企画する。
14. 図書館情報学検定試験の実施（図書館情報学教育特別委員会図書館情報学検定試験担当）
2013 年 11 月 24 日（日）に図書館情報学検定試験を実施する。
15. 国際的活動の実施（国際委員会）
学会活動の国際化を推進するため，海外関連機関との連携を積極的に進める。図書館情報学関連の国際会議情報を収集し，学会のメールマガジンに定期的に掲載する。また，第 61 回研究大会の本学会 60

周年記念行事に韓国図書館・情報学会会長を招聘し、招待講演を依頼する。

16. 図書館情報学用語辞典第4版の編集・刊行（用語辞典編集委員会）

『図書館情報学用語辞典』第4版を編集・刊行する。

17. 学会史資料の電子化（学会史資料デジタル化特別委員会）

学会史資料デジタル化特別委員会を設置し、残されている学会史関連資料の整理および電子化を進める。その概要のパンフレットを作成し、研究大会にて配布する。

18. 事務局業務の整備・拡充（事務局）

会員データの整備・活用（名簿発行を含む）、会費未収分の督促、事務局窓口の整理・拡充（郵送先変更、電話問合せへの対応など）を進める。

19. 役員選挙の実施（選挙管理委員会）

次期（2014～16年度）役員の実行を実施する。

第四号議案 2013年度予算案

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算(円)	備考
1. 会費		
正会員	5,320,000	5,000×656人 未納分 5,000×408人・年
学生会員	294,000	2,000×80人 未納分 2,000×67人・年
団体会員	765,000	15,000×43機関 未納分 15,000×8機関・年
賛助会員	400,000	50,000×4機関 未納分 50,000×4機関・年
入会金	30,000	1,000×30件
2. 広告料	195,000	30,000円×4件+25,000円×3件
3. 学会誌売上代金	1,735,800	定期購読 1,000,800 (12,000×仕切 0.7×120セット) バックナンバー735,000 (3,000×仕切 0.7×350部)
4. 印税	50,000	フロンティア他
5. 雑収入	50,000	著作権使用料他
6. 前年度繰越金	5,869,799	
合計	14,709,599	

(支出の部)

項目	予算(円)	備考
1. 事務費		
消耗品	300,000	封筒(印刷費含む)・文具・プリンタインク他
備品費	50,000	スキャナ
発送費	930,000	学会誌 70,000×4号分(59巻2号～60巻1号) 会報 100,000 ×2号分(149, 152号) + 150,000×2号分(150, 151号) 役員選挙 150,000
通信費	400,000	郵送費・振込手数料・郵便振替加入者負担金他
交通費	775,000	理事会 240,000 常任理事会 100,000×5回 会計監査 5,000 事務局職員通勤手当 30,000

人件費	330,000	事務局職員給与 25,000×12月 アルバイト他 30,000
会議費	80,000	理事会 25,000×2回 常任理事会 5,000×5回 会計監査 5,000
業務委託費	924,000	会員会費管理・学会誌発送作業他 (1,155/人×800人分)
レンタル料	24,000	ウェブサーバ 2,000×12月
2. 委員会経費		
研究委員会	159,000	交通費 54,500×2回 会議費 5,000×2回 通信費 10,000 書籍購入費 30,000
編集委員会	271,000	交通費 47,000×3回 会議費 5,000×3回 通信費 10,000 消耗品費 10,000 書評用図書費 30,000 英文校閲料 30,000 非会員査読謝礼 35,000
総務委員会	240,000	交通費 10,000×2回 会議費 5,000×2回 デザイン費・印刷費 (入会案内) 200,000 通信費 5,000 消耗品費 5,000
学会賞選考委員会	114,000	交通費 42,000×2回 会議費 5,000×2回 通信費 5,000 消耗品費 5,000 資料費 10,000
図書館情報学教育 特別委員会図書館 情報学検定試 験担当	182,500	交通費 52,500×3回 会議費 5,000×3回 通信費 5,000 消耗品費 5,000
同委員会図書館情 報学教育担当	270,000	交通費 75,000×3回 会議費 5,000×3回 資料費 20,000 通信費 5,000 消耗品費 5,000
国際委員会	212,500	交通費 15,000×2回 会議費 5,000×2回 英文校閲料 50,000 通信費 5,000 消耗品費 5,000 招聘旅費 (韓国図書館・情報学会会長 1名分) 100,000 講師交通費・謝礼 12,500
図書館情報学用語 辞典編集委員会	169,600	通信費 5,000 消耗品費 5,000 買い上げ費 159,600
学会史資料デジタ ル化特別委員会	572,530	交通費 10,000×2回 会議費 5,000×2回 通信費 5,000 消耗品費 5,000 電子化費 312,530 アルバイト謝礼 20,000 印刷費 200,000
選挙管理委員会	40,000	交通費 10,000×2回 会議費 5,000×2回 通信費 5,000 消耗品費 5,000
3. 印刷費		
学会誌	2,000,000	500,000×4号分 (59巻2号～60巻1号)
会報	300,000	150,000×1号分 (150号, 通信総会用はがきを含む) 50,000×3号分 (149, 151, 152号)
役員選挙 会員名簿	300,000 300,000	
4. 研究大会・研究集 会経費		
春季研究集会	170,000	春季研究集会事務局経費

研究大会	500,000	研究大会事務局支援拠出金 30,000 増額分 200,000 非会員パネラー交通費・謝礼等
研究大会シンポジウム	30,000	
5. 研究助成費		
研究助成金	600,000	研究助成 600,000
学会賞等副賞	500,000	学会賞 200,000 学会奨励賞・論文賞・学会活動貢献賞各 100,000
6. その他		
予備費	3,965,469	
合計	14,709,599	

【図書館情報学検定試験特別会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	備考
検定試験受験料	800,000	2,000×400 人
前年度繰越金	1,417,767	
合計	2,217,767	

(支出の部)

項目	予算 (円)	備考
交通費	50,000	
会議費	10,000	
ちらし作成費	120,000	送料を含む
広告掲載費	120,000	雑誌広告掲載料 (4 誌)
会場運営費	30,000	
説明会運営費	60,000	
バッジ作成費	10,000	高得点者記念品
予備費	1,817,767	
合計	2,217,767	

議案に関する補足説明

2012 年度決算 (第二号議案) における「収入の部」について、会費収入が半数程度に留まっているのは、事務局からの会費請求が例年より遅れたことが大きな理由であると考えています。実際には本年度 4 月以降に相当程度の納入がなされていますが、その分は昨年度決算には反映されていません。また、宛先不明となっている会員の未納分 (複数年度の場合を含む) が回収できていないことも理由のひとつです。なお、一定期間以上、会費が未納となっている会員については、順次、退会処分としております。

また、「支出の部」の「春季研究集会」については、参加者が予想を超えたために収益が出たことから、支出をゼロとし、収益については「収入の部」の雑収入に計上しました。なお、予算案策定時に費目として「春季研究集会」を立てているため、会計上は今回のような処理といたしました。今年度決算以降においては、よりわかりやすい決算報告の表現を工夫してまいります。ちなみに、研究大会は、拠出金 (いわゆる渡しきり) となっております。

同じく「支出の部」における「業務委託費」が予算よりも相当に少なくなっているのは、委託が遅れ、2012 年度は一ヶ月分 (および移行経費) のみの支払いとなっているためです。なお、人件費が予算より

も大きくなっているのは、委託の遅れに伴い、事務局員の人件費が見込みより多くかかったためです。

なお、本学会では従来、いわゆる現金出納ベースで決算処理を行なってまいりましたが、会計規模が大きくなってきたことなどを踏まえ、一般的な方式に近づけていくこととしました。すなわち、2012年度決算から、未払い金処理を導入し、年度内に納品等が行われ、請求がなされた事項については支出として計上しております。また、2013年度決算からは、会費未納分などの未収金も収入として計上する予定としております。このことによって、年度間の予算・決算の比較検討が容易になり、いわゆる貸借対照表などによって学会の資産をより明確に把握することができ、安定的な財政運営に資するものと考えられます。

2013年度予算案（第四号議案）については、「収入の分」における会費の未納分が相当数に上っていますが（備考欄参照）、これは2013年3月末時点の数字です。上述のとおり、2012年度会費請求が例年より遅れたため、未納分のうち相当分はすでに2013年4月以降に納付されております。なお、会費の未納については、例えば3人が1年分を、1人が2年分を未納としている場合、「5人・年」と表記しています。したがって、例えば正会員の未納分について「5,000×408人・年」とありますが、これは「未納の会員が408人いる」という意味ではありません。

2012年度活動報告（第一号議案）「19. 学会運営に関する検討」については、本誌148号記事「『学会運営に関する臨時委員会』の設置について」もご参照ください（答申は学会ウェブサイトに掲載されています）。また、2012年度活動報告（第一号議案）「20. 事務局体制の整備」、および2013年度事業計画案（第三号議案）「18. 事務局業務の整備・拡充」については、本誌前号記事「事務局体制の整備について」および今号記事「事務局体制の整備について（続報）」もご参照ください。

なお、四つの議案に関連して、本誌前号記事「2013年度の開始にあたって」もご参照ください。また、学会運営に関する臨時委員会の答申もご参照ください。本誌のバックナンバーや臨時委員会答の答申は学会ウェブサイトに掲載されています。

第 61 回 研究大会のご案内

研究委員会／第 61 回 研究大会事務局

第 61 回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。研究発表の募集を開始いたしますので、多数のお申込みをお待ちしております。なお、参加募集につきましては、後日、送付いたします開催案内をご覧ください（開催案内はウェブサイトにも掲載いたします）。

開催要領

日 程： 2013年10月12日（土）、13日（日）

会 場： 東京大学 本郷キャンパス 赤門総合研究棟

事務局： 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学教育学部図書館情報学研究室
第 61 回日本図書館情報学会研究大会事務局

Tel: 03-5841-3976 E-mail: jslis2013@jslis.jp

参加費（予定）： 正会員 2,000 円，学生会員 0 円，非会員 4,000 円

懇親会費（予定）： 4,000 円

宿泊案内

研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

プログラム (予定)

10月12日(土)

12:00-13:00 受付

13:00-13:15 開会式

13:30-17:00 研究発表

17:30-19:00 懇親会

10月13日(日)

9:00-9:30 受付

9:30-12:00 研究発表

12:00-13:00 昼食(理事会等)

13:00-14:00 臨時総会

14:00-15:00 創立60周年記念式典および記念講演

15:10-17:20 シンポジウム

17:20-17:30 閉会式

- ・大会2日目の午後には「臨時総会」「60周年記念式典および記念講演」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。
- ・大会2日目のシンポジウムについては、図書館情報学教育をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので、研究大会参加者以外の方も無料で参加することができます。

研究発表募集要項

- 1) 別記の〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉にご留意のうえ、お申し込みください。
- 2) 応募資格：筆頭発表者が日本図書館情報学会の正会員か学生会員であり、登壇発表者となること。
- 3) 発表時間：1件30分(発表時間20分、質疑応答10分) 発表件数によっては、短くなる可能性があります。
- 4) 申込方法：学会ウェブサイト(<http://www.jslis.jp/>)あるいは研究委員会ウェブサイト(<http://jslis-kenkyu.appspot.com/submit>)から必要事項を記入の上、お申し込みください。なお、受理された申込書はWeb上で公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- 5) 申込締切：2013年8月12日(月) 23:59 必着
注：申込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます(受理の連絡はまた別途行います)。申し込んだにもかかわらずメールが届かない場合、トラブルの可能性がありますので、研究委員会(kenkyu@jslis.jp)までにご連絡ください。
- 6) 申込受理：申し込み後1週間前後で通知します。
- 7) 発表論文集原稿：発表することが決まった場合には、研究委員会で提供するフォーマットファイルに従ってA4判で4枚の発表要綱を作成し、2013年9月5日(木)までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお、要綱提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。要綱の作成方法などに関しては、発表申込受理者にご連絡いたします。
- 8) 発表のための機材：プロジェクタないしそれに準じる表示装置でプレゼンテーションソフト(PowerPoint)が使用可能です。その他のソフトウェアや機材をご要望の場合には、研究委員会(kenkyu@jslis.jp)までお問い合わせください。
- 9) 優秀発表賞：研究委員会における審査において、研究内容・発表技法という観点から優れた発表を行ったと判断された登壇発表者を対象として優秀発表賞を授与いたします。優秀発表賞については、学会ウェブサイトならびに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表いたします。

〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉

研究大会および春季研究集会は、次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ、発表申込をしてください。

- (1) 個人会員(正会員・学生会員)は、研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は、他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。

- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは、合わせて1回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は、発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム（発表タイトル、発表者、発表内容、発表時間）の変更は、原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には、要綱提出の1週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込、要綱作成、発表、発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は、日本語もしくは英語で行うものとする。

理事の繰り上げ当選について

常任理事会

齋藤文男、志村尚夫両理事（五十音順）のご逝去に伴い、日本図書館情報学会選挙管理運営規程第4条2に基づいて、常任理事会において、先の選挙で次点であった坂田仰（日本女子大学）、吉田右子（筑波大学）の両氏を繰り上げ当選としました。両氏には、理事就任をご承諾いただきました。なお、任期は残存期間である今年度末までとなります。

事務局体制の整備について（続報）

事務局長

本誌前号において、事務局業務の一部委託に伴う状況についてご説明をいたしました。以下、補足・経過の説明をさせていただきます。なお、金額面も含む委託内容の詳細については、契約書などの書面とともに、本年度第1回理事会で説明をさせていただいております。

一部業務委託後の事務局体制（概要）は下表のとおりです。

会計担当 事務局長 (現事務局)	会員会費担当 (委託先会社)
入会審査対応*	会員情報管理（入退会・住所変更等への対応を含む）
予算案・決算案作成 出納（支払・通帳管理を含む）	会費の請求・督促・入金管理 立替払い
会報編集・発送手配	学会誌等発送（郵送・メール） 学会誌保管・販売
総会・理事会・常任理事会運営	必要事項集計
重要資料保管	資料保管（重要書類を除く）
問合せ（判断必要）対応	問合せ（判断不要）対応（メール・電話・ファクス・郵便）**
その他（判断必要）	その他（判断不要）

* 入会審査は常任理事会にて実施。

** 現在は会員情報・会費に関する問合せ以外は現事務局で受付をしているが、2013年度後半より、委託先会社

に問合せ窓口を一本化する予定。

また、一部業務委託の内容（基本業務）は次のとおりです。なお、基本業務の委託費は、会員一名（機関）あたり 1,155 円となっています。

- (1) 会員管理業務（住所等個人情報管理）……会員登録原簿の管理（所有権は学会）、転居・所属変更の受付（月ごとの変更一覧の作成）、転居先不明の場合におけるメール・電話等による本人への確認、会員データの更新（変更事項入力）・バックアップ、役員会（理事会・常任理事会等等）に対する会員状況（人数・納入状況等）の報告など
- (2) 入退会管理業務……入会申込みの受付および常任理事会承認後の承認通知・会費払込用紙の発送、役員会（常任理事会など）に対する入退会者一覧の報告
- (3) 会費管理……入金状況の管理（口座名義は学会とし、通帳等管理を含む出納業務は会計担当・事務局長が実施）、会費請求（年度初めの学会誌に「会費納入のご案内」とともに払込用紙（個人情報記載済み）を同封）、未納者への督促（年 2 回未納者に対してのみ払込用紙を送付）、払い込まれた会費の記録、会員からの問い合わせへの対応、入金状況を役員会（常任理事会など）に報告、年度末締で入出金明細作成、団体・賛助会員、学会誌定期購読者の管理（50 件まで、51 件目からは追加料金）など
- (4) 発送作業……学会誌（年 4 回）・会報（6 月発行分、定例総会議案）・研究大会開催案内（予定）の発送（合計年 6 回、7 回目以降は追加料金）、新入会者への学会誌・会報等の発送など
- (5) 学会誌販売管理……バックナンバー販売（請求・入金管理を含む）など
- (6) 電子メール一斉発信……会報・メールマガジンの配信など（年 12 回まで、13 回目以降は追加料金）（本学会ではサーバで配信システムを運用しているため、配信時における最新アドレス一覧の作成にて代える）
- (7) 総会関連……返信ハガキの受け取り、賛否の集約など
- (8) 立替払い……学会誌・会報等の印刷費・郵送費の立替払い
- (9) 役員会（常任理事会等）への報告（年 4 回まで、5 回目以降は追加料金）……入退会者一覧、会員状況（前回人数、入会者数、退会者数、現在数）、年度末締の口座入金明細、委託費用および立替明細など
- (10) 資料・学会誌保管（10 箱まで、11 箱以上は追加料金）

なお、上記以外にデータ引継ぎ費用が初年度（2012 年度）のみ発生しています。また、決算案・予算案作成、ホームページ更新作業、選挙関連業務、名簿作成関連業務も委託が可能ですが、追加料金が発生するため、担当委員会などとも相談のうえ、必要に応じて利用していくことも検討しています。

今回の委託先は、大学生協学会支援センターです。「大学生協」という安定性・公共性、委託費の割安度などを踏まえて、慎重に選定をいたしました。正式には 2013 年 3 月 1 日付で学会長名にて契約書を交わしております（委託先の契約主体は株式会社大学生協事業センター）。料金発生は 3 月分からとなっておりますが、業務自体はそれ以前から徐々に委託を進めておりました。いわゆる移行・引き継ぎ期間として、料金は発生していません。

今後ともご理解、ご協力のほどをよろしく願いいたします。ご意見やご質問などがございましたら、事務局（office@jslis.jp）までご連絡ください。

なお、事務局体制強化のため、事務局次長として今井福司氏（白百合女子大学）、事務局員として赤山みほ氏（筑波大学大学院）に事務局に加わっていただいております。あわせてご報告いたします。

なお、2011年度までの未納分について督促を差し上げる旨、ご案内をいたしておりましたが、未納分のうちの一定数は宛先不明となっている会員によるものとわかったため、上述の「登録事項確認のお願い」による会員情報（登録データ）の整備を行なったのち、今年度年会費を請求するさいに、過年度分の未払いがある場合にはまとめて請求することといたしました。（事務局）

- ・会員情報や会費に関するお問合せ先

日本図書館情報学会事務局 会員会費担当（担当：井手）

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内

Tel: 03-5307-1175 Fax: 03-5307-1196 E-mail: office@jslis.jp

学会受領資料

- ・安藤友張編著『図書館制度・経営論』ミネルヴァ書房，2013
- ・河島茂生編著『図書館情報技術論』ミネルヴァ書房，2013
- ・根本彰編『図書館情報学基礎』東京大学出版会，2013

会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

なお、誌幅の都合等により、上記には図書のみを挙げております（著者名の五十音順）。（事務局）

お問合せ先

- ・研究助成，研究大会・集会，シリーズ出版物などについて……研究委員会（kenkyu@jslis.jp）
- ・学会誌（編集）について……編集委員会（journal@jslis.jp）
- ・国際交流活動などについて……国際委員会（intl@jslis.jp）
- ・ウェブサイト，メールマガジンなどについて……総務委員会（somu@jslis.jp）
- ・会員情報，会費，学会誌（発送），学会報などについて……事務局（office@jslis.jp）

※各種情報などについては，学会ウェブサイトにも掲載しています（<http://www.jslis.jp>）